



# 同窓会報

平成17年2月22日

## 第55号

# 2005

発行所/〒963-8052

福島県郡山市八山田二丁目224番

福島県立郡山北工業高等学校同窓会

☎ 024(932)1199

FAX 024(935)9849

発行者/増子 久治

編集者/浦山 敏

発行部数/18,000部



郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

## CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成16年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 (野球部OB北嶺会 ノーザンピークス郡山)	7
母校近況 (生徒会だより、部活動大会成績報告)	8
母校近況(進路状況)	9
平成15年度決算報告・基本金報告・会務報告	10
平成16年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
総会風景・北嶺祭・事務局だより	12

## 同窓会定期総会開催のお知らせ

平成17年度定期総会を下記のように開催いたします。

●日 時/6月18日(土) ●午後5時00分より総会  
●午後5時50分より懇親会

●場 所/ホテルハマツ

郡山市虎丸町3-18 ☎ 024-935-1111

●会 費/5,000円(平成16年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせください。

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※参加は会員であれば自由です。同窓生、同級生、会社の同僚等お誘いあわせのうえ多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。  
(参加希望者は、同封された払込取扱票の通信欄の総会費に○をつけて会費を納入ください。)

## 会長あいさつ

同窓会会長 増子 久治



同窓会会員の皆様には、ご健勝にて活躍されている事とお慶び申し上げます。また、常日頃より同窓会活動にご協力頂き、感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、一年を締めくくる漢字に「災」が選ばれたことに象徴されるように、自然災害が非常に多い年でありました。異常気象で始まり、予想もしなかった早い時期の台風とそれによる水害。台風はその後も連続で日本を直撃し各地に大きな被害をもたらしました。さらに10月に起きた新潟県中越地震。幾度となく発生する地震による揺れ、そこに生活する住民の恐怖、孤立する地域などの報道を見ると胸がいたくなる思いでした。しかし、地震発生直後から各地より差しのべられた救援の輪には心暖まる思いでありました。ところが、この中越地震が落ち着きをみせた矢先、こんどはインド洋スマトラ沖地震による津波。一瞬の間に20数万人の命を飲込んでしまう自然災害の恐ろしさ。ただただ驚愕するのみでした。被災された皆様、一日も早く平穏な生活に戻れる様お祈りしたいと思います。

卒業し同窓会新会員となられた皆様に、同窓会を代表し心から歓迎申し上げます。皆様、報道等で承知している事と思いますが、政府による三位一体の改革が行われており、それは補助金・交付金の削減や組織の変更等を含め、全ての面と言っても

過言でないほど広範囲に及んでいきます。経済環境の厳しい中での実社会へ旅立ちでありますが、本校で学び培った3年間で基礎とし、今後自分の創意工夫を加え、本校同窓生としての自覚と責任を持ち、常に前向きに一歩一歩進んで頂きたいところです。

パブル以降、毎年の様に景気回復を願っております。近年、一部業種や地域には明るい兆しが見えると言われながら、依然厳しい状態が続いております。

今春の高校卒業生には就職先が決まらず卒業式を迎える人も多数いると聞き及んでおります。しかし、高校新卒者に対する門が狭いのは、不況という理由だけではないと考えます。それは、企業が新卒者を受け入れても定着率が低く、すぐ辞めてしまう人が多い状態ではないかと思えます。このような状態では近い将来、高校新卒者と企業との信頼関係が損なわれてしまうのではないかと危惧されます。本校卒業生にはそのようになつて頂きたくありません。企業との信頼関係を強くし、今まで以上に雇用関係を大切に、今日に至るまで頑張つて来た先輩の努力と名譽のため、さらに、今後続く後輩のために模範となるよう努力して頂きたいところです。

私は、平成7年度の定期総会において前会長長崎一郎氏より会長を引き継ぎ、今年で10年にならんとしております。その前3期、平成元年より6年間副会長を仰せつかつており、私は17年度定期総会において会長を卒業する事になっております。今回の会報が会長として最後になります。少々思い出を記してみます。同窓会活動に参加させて頂き20数年、今更ながら数多くの出来事が思い出され

ます。参加させて頂いた当初感じた先輩の皆様共通の母校愛、後輩に対する面倒見の良さ、三役をはじめ幹事の皆様の真面目さと熱心さ、そして行動力。年月をかけて計画建築するトレニングセンターは、当時の校長からの要請を受け、先崎会長を先頭に発案より一年という短期間に完成。当時の誰もが目を見張つたものでした。毎年約200名が出席して開催される同窓会定期総会も他校には見られないものでありますし、学校や同窓生の近況を全国の会員に知らせるこの会報も他校に誇れるものであると自負しております。特に郡山を離れ遠くに居住されている皆様にとっては、年代を越え、懐かしさが心の底から湧いて来るのではないのでしょうか。また、副会長の時から東京、水戸、日立支部総会に招かれ参加してまいりましたが、各支部の役員の皆様のご苦労と参加者に対する心配りにはいつも頭の下がる思いでありました。東京支部は東京都神奈川県、埼玉県、千葉県など広域の同窓生の住所を調べて案内を郵送していただいております。役員の皆様にも感謝申し上げます。また、日立、水戸支部の皆様には、日立製作所系事業所の団結力や茨城県庁における結びつきのなかで、同窓会を通して素晴らしい出会いを頂き、いつも感激して帰つて来ませんでした。皆様の親切な心は一生忘れられません。

昨年、本校の学校祭(北嶺祭)のオーピングに出席させて頂きました。東京より駆け付けて下さいました小池芳光東京支部長と一緒に、根本校長の案内で見学させて頂きました。今の学校祭は遊び心が随所に見られ、私達の頃の学校祭とは様変わりしているように感じられ、我々の頃は真面目に考え過ぎていたのではないかと思います。各種コーナーを見て回りましたが、真剣に考えて展示されているコーナーほど見学者が少なく、人気が無かったように感じられ、これが現代の姿なのかと考えさせられる場面もありました。

福島県では少子化による生徒減少にあわせて学科や募集定員の削減が実施され、本校も例に漏れず、現在機械科のみ2クラスでその他は1クラス、計8クラスになってしまいました。さらに減らそうという向きもあるようですが、異なる専門を学ぶ7つの科からなる本校と普通高校とは性格が違うと思います。

これを一律に取扱うのは、いかがなものか。本校の入学試験倍率の高さを考える時、なぜ学級減をするのか疑問と同時に憤りすら覚える時があります。しかし、福島県全体を見渡す時、毎年定員数に達していない学校が多数ある事を考え、やむを得ないのかなとも思います。自分が卒業した定時制が閉課された時一抹の寂しさを感じましたが、現在のようには昼間の高校にほとんどの人が進学できる状態を見る時、喜ぶべきなのか心中複雑な思いでありました。

私の一日は、朝一番に新聞に目を通す事から始まります。やはり、本校の記事が載っていないかに気をつけており、スポーツシーズンにおける選手やチームの活躍、さらに先生方の指導など見つけると我がことのように嬉しくなり、事故や事件等に本校の名が出てくると、非常に残念でなりません。これも、母校愛の表れでしょうか。

郡山工業、郡山西工業が統合され間もなく30年を迎えようとしております。世の中はその当時と比較にならないほど進歩しており、当時は夢や空想であったものが現実となり、生活環境や社会環境が目まぐるしく変化して、私のように頭の堅い人間にはついていけない状況となっております。最も親しい級友といつも話題にした事があります。それは、人と同じ事をやっていたらその人以上にはなれない。人の上に立ちたいなら何倍も努力をする事、自分の頭で角度を変えながら何度も考える事である。難しい事に直面した時、知っている第三者に尋ねたり指示されるのは容易である。しかし、それではその人以上になれないし、覚える事が出来ないのではないのか。やはり苦勞しながら自分で考え行動する方が身に付くのではあるまいか。私も社内の若い人を見ている。全ての者が携帯電話を持っていて、自分で理解できないとすぐに電話で対処の仕方を聞いてくる状況であります。また、人と同じ時間遊んでいたのでは、その人以上にはなれないのではあるまいか。労働時間が週40時間と改善されて、私達が働いていた当時とは比較になりませんが、収入だけがすべてとは思いませんが、これで良いのだらうかと疑問に思う事もありますが。日本は戦後驚異的な復興を果たしました。諸条件が整い実現した事でしょうが、それ以上に日本人特有の勤勉さによって成し遂げられたのではあるまいか。欧米が短時間労働、長期休暇であったのに対し、日本人は寝る間も惜しんで仕事に励んだからではないかと思えます。これから先の日本と若者を考える時、複雑な心境です。若く少々の無理に堪えられない時頑張り、年老いてから楽をしたいと考えている私の寝言かな...このような話を交わしていた級友も、26才の若さで電気工事中の感電事故でこの世を去りました。生きていくうちが花なのか;少々長くなりました。

終わりに、同窓会にご寄付いただきました皆様衷心より感謝と御礼を申し上げます。皆様各位のご活躍とご健勝を祈念、あわせて会員企業各位の益々の発展と隆盛を祈り、今日までご協力承りました多くの会員の皆様に心の底より「ありがとうございしました」と感謝と御礼を申し上げます。結びと致します。

# 校長あいさつ

校長 根本源太郎



昨年6月26日、同窓会の日立支部総会にご招待を受け、多くの本校の同窓生にお会いでき、勇気と励ましをいただきました。あらためて感謝申し上げます。

Inspire the nextの日立製作所や原研、日立市で事業を起こされてる方など多くの方々から郡山北工への想いをお聞きすることができました。そのいくつかをご紹介します。

三穂田町出身の山川俊夫さん。28年3月卒業。62歳まで現役で世界の水力発電所を建設されました。外国での現地指導が多かったため英語が身に付いたとのこと。英語の先生の研修は1年間位の長期間外国に行つて使うことが大切とのこと。現在はドイツ語の勉強で、ドイツへ行つて勉強しているとのこと。日本ではドングリの背比べではないか。出る者は伸ばす。個性を伸ばすことが必要でしょう。そして茨城大学で講師として年

間15〜16回の講義を担当され、趣味は那須野原でのカプラン水車づくりとのことでした。

七海 清さん。31年3月卒業。日立製作所に入社して良かったこと。チャレンジ精神があること。良い人、すばらしい人が多くいこと。現役時代は頼まれた仕事を断つたことがなかった。退職後はニュージールランドなど世界の山々を登つておられるとのこと。

荒木 勉さん。36年卒業。同窓生の名前を聞くことが楽しい。増子会長さんのうれしい話で同窓生の名前が浮かんでくるとのこと。

村井安弘さん。32年卒業。15年間原子力発電所部門。その後ウラン濃縮部門で活躍なされたとのこと。来月は北海道を1週間で1周されるとのこと。お元気で。

小池征男さん。34年卒業。三穂田町出身。39年間日立工場の圧延部門でご活躍され、同窓会の発展のためにご貢献されました。現在、日立市役所の日立技術支援センターで後輩の指導をされていますが、これからは「ものづくりの方向づけ」が大切とのことでした。

古川秀康さん。42年卒業。採用試験で「君は日立に入社したら何をやりたいか」と聞かれて、日立ではでかいものを作ると聞いていたので「水車をやりたいです」と答えたそうです。そして英語の単語「ハンマー」のスペルを聞かれたとのこと。34年間のうち32年間、原子炉の圧力容器、格納容器の設計に携わつてこられました。現在は、アメリカ中国の工場で事業をどのように展開するか、事業計画の仕事をされているとのこと。趣味はパラグライダー。仕事ができないと遊びもできないとのこと。

本校の同窓生が活躍なされているお姿の一端をご紹介しますが、お一人、お一人が母校の発展を祈つておられました。私はあらためてその責任の重大さを痛感させられました。これからの同窓会のますますのご発展を祈念申し上げます。



この度、栄えある北工の同窓会に私達も入会できることをとても嬉しく、そして誇りに思います。卒業後、多方面で御活躍されている先輩方の功績は様々なところで目にし、耳にします。また、高校生活の中でも勉強に部活に熱心に取り組み国家試験や各種大会で偉大な成績を収めるなど、すばらしい校風を作り上げて下さいました。そして私達は、先輩方の作り上げた校風をさらに善く、そして輝かしくするためこの3年間先輩方に追いつけ追い越せと頑張ってきました。そんな私達も4月からは羨望の的である先輩方の仲間入りができます。最初のうちは右往左往すると思いますが、先輩方を目標に頑張りたいと思いますので、温かい目で見守つて時には良きアドバイスを宜しくお願いします。

# 新会員のことは

建築科 平澤 秀一



岡部君、ソフトボール男子Jr全日本代表入り！東北初！

今年夏にカナダでおこなわれる第7回世界男子ジュニアソフトボール選手権大会に出場する日本男子ジュニア代表チームに、本校ソフトボール部の岡部彩人君（電気科今年度卒業生）が、東北初の全日本メンバーへ選ばれました。代表チームは、全国の18歳以下の選手を対象にセレクション実施し、書類による一次選考をパスした54人が、静岡県で昨年11月19日から21日まで、行われた二次選考に臨みました。岡部君は、代表17人のうち5人の投手枠に選ばれました。「選ばれるとは全く思っていなかったのですが、うれしさよりも驚きの方が大きかったです。」と、全日本代表入りの心境を話してくれました。世界大会は、4年に1度開かれ、男子ソフトボールのオリンピックに当たります。今回は、カナダを舞台に今年6月22日から7月1日まで、約20カ国が参加して大会が開催されます。大会では、20試合以上が行われる見込みで、岡部君の登板チャンスも十分考えられます。

代表チームは、今年1月24日から31日までのニュージールランド海外強化遠征を実施しました。この海外遠征は、一つ一つ全てが初めての経験となりまた、世界の強豪と戦うことに新たな闘志を燃やし身を引き締めていました。

岡部君は、同校エースとして県大会完全制覇と全国高校総体男子ソフトボール大会5位の原動力となりました。卒業後は、郡山市内のエディソンに就職が内定しており、今後は同社に勤務する傍ら、福島ソフトボールクラブに所属し、ますますピッチング技術に磨きをかけ、世界大会へ向けて「自分が登板した試合では、勝てるように全力で頑張りたい」と意欲を燃やしています。

今後の岡部君の活躍を同窓生一同期待しております。

# 平成16年度 同窓会定期 総会報告

自由に語り合える貴重な場であるとの話がありました。また、おのおの卒業時は名前の違う高校ではあるが後輩のため皆さんで一致団結して頑張っていくことが必要であると述べられました。

## 「校長挨拶」

6月12日(土)午後5時から、郡山ビュートホテルアネックスにおいて、平成16年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が百七十余名の参加を得て開催されました。

「開会の言葉」  
同窓会副会長滝田孝太郎氏が、同窓会定期総会の開会を宣言しました。

## 「会長挨拶」

同窓会会長増子久治氏より、ご出席の皆様と同窓会に対するご理解とご協力に対して御礼が述べられました。そして定期総会は年齢も立場も異なる人たちが同じ場所に集い、母校の話題をきっかけにして

動するうえでここ数年新入会員が少なく、活動している会員の高齢化が進んでいることなどの話がありました。また、本年より会員の把握に努力し活動の活性化を目指していくとご挨拶されました。

## 「議長選出・書記任命」

事務局一任となり、事務局長の浦山 敏氏より、議長には西43年度電気科卒の伊勢野敏雄氏と北52年度電子科卒の本田文一氏、書記には郡43年度機械科卒の田母神三知夫氏が提案され承認されました。



## 「議事」

平成15年度庶務報告は、事務局長の浦山 敏氏より総会資料に沿って行われ、会務報告、新会員報告、および職員

平成15年度決算報告は、事務局の渡辺正一氏によって行われ、会計監事の笹山忠昭氏による会計監査報告ののち、質疑を経て拍手を持って承認されました。

平成16年度事業計画案は、事務局長の浦山 敏氏より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

平成16年度予算案は、事務局の渡辺正一氏より提案され、来年度の1クラス減に伴う収入減分を予備費として予算案を組んだことが報告され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

## 「閉会の言葉」

同窓会副会長古川 弘氏が、同窓会定期総会の閉会を宣言しました。

## 「アトラクション」

本年度は本校同窓生で夕木厚志さんのバンド夕木厚志&ティール・ブレイクにご出演いただきました。ペンチャーズからバラードまでを演奏していただき会場にお越しの各年代に楽しんでいただきました。

## 「懇親会」

同窓会副会長添田善一郎氏の開会宣言のあと、同窓会会長増子久治氏の挨拶、ご来賓を代表し学校長根本源太郎様、同窓会相談役植田英一様、PTA会長吉田貞夫様よりご祝辞をいただき、教頭和田一郎様の乾杯のご発声により祝宴に入りました。懇親会の中でゴルフコンペの表彰も行われ優勝渋谷建夫氏・準優勝鈴木一栄氏・第三位橋本正喜氏が表彰されました。参加者は最後まで和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。



# 支部だより

## 東京支部



東京支部長  
小池 芳光

自然災害に悩まされた年に別れを告げ、景気は回復傾向ですが、生活環境の方は厳しさを増してきているのが実感です。

希望にあふれる新年を迎え、同窓会としては目的実現のため「転石苔を生ぜず」のことわざ通り、常に活動し着実に前進して行きたいと思っております。

さて、平成16年度東京支部の活動について報告させていただきます。

1、三役会を中心に活動。支部役員会を開催したほか、本部の「同窓会定期総会」、「日立支部同窓会定期総会」、「東京福島県人会」に出席し懇親をはかって参りました。

更に、母校の「北嶺祭」

に初めて参加する機会を得て、これから同窓会に仲間入りする生徒の皆さんの明るく楽しんでる姿に身近に接することができました。

現代に即応した作品群はテーマの表現を十分に感じ取れ、特にコンテンツ成果の質の高さには驚くべきものがあり、若い世代の活力と頼もしさを感じました。

2、昨春、本部から会員の皆さんに同窓会報を発送したため、転居先不明者が東京支部対象者の中に46名もあつたとの連絡を受けました。東京支部総数1079名の実態を把握したばかりなのでショックを隠せません。早速、支部役員の協力を得て追跡を開始しましたが、現在6名しか判明しておりません。

結果、今年の同窓会報はお届けすることができませんし、支部行事の連絡をすることもできません。そこで、皆さんにお願いですが、住所を変更

されたら必ず本部同窓会事務局に連絡を取ってください。

3、今年、東京支部は、隔年開催となっている「定期総会と懇親会」を予定しています。

6月25日(土) 上野精養軒に15時30分集合。ご案内は4月に発送の予定となっています。会員の皆さんには、是非お誘い合わせのうえ出席されることを願っております。

本部同窓会のインターネット・ホームページ掲示板を活用させて頂いて案内してありますのでご覧になってください。

4、朗報ですが、昨秋の叙勲で「市川昭介」氏(郡・昭25・機)が音楽作曲活動の功績により「旭日小授章」授与という栄誉に輝きました。書状で祝賀の意を表しました。

最後に、同窓会役員はじめ会員皆様の日頃のご協力に感謝すると共に、母校並びに同窓会本部、各支部の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念いたします。

## 日立支部



日立支部長  
古川 秀康

昨年の日本の実質GDP成長率は前半は堅調に推移したが後半になって鈍化し、平均で3・3%と報告されています。輸出と設備投資主導による景気は鈍化の傾向を呈し、今年度は1%程度になるのではないかとの見通しもあり益々

厳しい年になるものと予想されていますが、生活の豊かさを求めて元気を出してこの難局を乗り切っていきたいものです。

さて平成16年度の日立支部活動について報告致します。去る6月12日(土)に開催

された本部総会には小池顧問、佐藤副会長、白岩幹事を含め4名参加させて頂きました。総会では、本部役員諸氏及び来賓の方々からの貴重なお言葉やご報告と根本校長先生からの北工での各方面での活動の輝かしい成果の紹介があり、有意義な一時を過ごさせて頂きました。第二部での母校卒業生により結成されたバンドによる生演奏は会場の雰囲気を一層盛り上げたものでした。日立支部総会は6月26日(土)に実施しました。当日は学校側から根本校長先生をはじめ、同窓会本部から増子会長、滝田副会長、浦山事務局長、さらに東京支部から小池支部長、水戸支部から山崎顧問及び石井理事長の皆様方多数の来賓をお招きし盛大に開催しました。

総会第一部では恒例により一年間の活動経過報告及び今後の支部活動方針と計画に関する内容について討議を致し



平成16年度郡山北工同窓会日立支部総会

ました。第二部の懇親会では来賓の方々よりご挨拶の方々、母校の文化、体育系での活躍を含めた現状や今後の動向、各支部の状況などの報告を頂きました。懇親会では、故郷での最新の話題、他支部との情報交換としてレジャーや趣味の話と多岐にわたって広がりができました。特に、今回はご来賓の方々には、日立駅前  
に建立された実物の蒸気タービンのミニメントと日立市高台に最近建設された吉田正音楽記念館を見学して頂きましたが、少しだけ変わりました。日立市の一部を見ていただけののではないかと思っております。支部活動としては、定例日立支部総会、定年退職者激励会及び職場移動に伴う歓迎会を実施しましたが、OB諸先輩を含めた同窓会の盛り上げと母校及び本部活動への協力を維持していく為にもこれまで同様、総会と懇親会を継続していくことを会員一同確認致しました。

尚、昨年の10月30日、31日に開催された母校での北嶺祭を見学させて頂きましたが、質の高い作品展示や飾り付けの工夫もさることながら、楽しそうに説明する生徒達の明

るさと礼儀の正しさに驚き、教育方針に基く先生方のご努力の賜物と理解したのと同時に、着実に次世代を背負う技術者の卵が順調に育ってきていることに喜びを感じた次第です。詳細な報告は次の支部会合でしようと考えています。最後になりましたが、母校及び同窓会の益々のご発展とご繁栄、そして関係する皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

## 水戸支部



水戸支部長  
八代 正雄

平成十七年の新春を迎えお祝い申し上げます。

昨年は春先から暑い日が続き、夏は猛暑が何日も続き、過し難い日々であった。9月以降は次から次と大型台風が日本列島を縦断。関東地域を除いて殆どの地域で河川の氾濫、土砂崩れ、家屋の水没などの災害が数多く発生した。後片付けも終わらない内に、今度は新潟県中越地震に見舞

われ一時十万人もの人々が避難された。平成の大災害であり、災害が多く発生した痛ましい年であった。

今年の干支は酉です。同窓会の皆様方ご家族揃って干支にあやかり大いに羽ばたき、金運と幸運に恵まれますことと災害のない穏やかな年になりますようお祈り申し上げます。

さて、平成十六年度の水戸支部の活動について報告致します。

●六月十二日 本部総会出席。

(八代支部長、山崎顧問、石井理事長、橋本理事) 同日のコンペに二名参加。

(八代支部長、山崎顧問)

●六月二十六日 日立支部総会出席。(山崎顧問、石井理事長)

●十一月三十日 第二回水戸支部コンペ開催。

久慈川カントリークラブにおいて二組、シンペリア方式で開催した。殆どの方が始めてのゴルフ場のため何んと起伏の多いコースと驚きの連続でした。

優勝は2回連続同一の方でした。今年度も場所を変えて楽しく開催予定。

●県庁ブロックの紹介

舞木善郎

●六月 本部総会、東京支部総会、日立支部総会出席。

●九月 スポーツ大会開催。

私たち県庁ブロックは水戸支部総会以来これといった行事も無く、暑氣払いを計画したところ東京電力に勤務されている大原さんが水戸支店から東京支店へ転勤されるとの事でした。丁度計画していた暑氣払いと併せて送別会を行うことにしました。山崎顧問、八代支部長のお二人を招待して、八月二十日に行いました。

橋本ブロック幹事の激励の挨拶に続き、山崎顧問の同窓会状況と近況報告があり、八代支部長の本部同窓会出席の報告と母校の状況を紹介して頂きました。宴も進み、大原さんか初めて水戸に来た時の生活について等、単身赴任時の思い出話に花が咲き、更に話題は定年退職と老後の生活についてと発展し、我が県庁ブロックも平成十七年三月に五名の方が目出度く定年を迎えます。いつもになく盛り上がった宴会となり笑いあり楽しく懇親を深め終了しました。

●十一月 第3回コンペ開催。

●平成十七年度水戸支部総会開催。詳細は後報。

●最後にになりましたが母校の益々のご発展と、同窓会のご発展、ご繁栄、そして同窓会の皆様様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



民間車検場  
車のコンサルタント

SINCE 1992  
**CAR SERVICE SHOP**  
Soeta  
The garage you can trust for reliability and high quality

車のことなら  
おまかせください

各種新車・中古車販売・車検整備  
板金・焼付塗装  
クレーン・レッカー作業

**有限会社 ソエタ自動車**  
代表取締役 添田善一郎

〒963-1304 郡山市熱海町安子島宇対面1-27  
TEL (024) 984-3350  
FAX (024) 984-3123

# 発足10周年 郡山北工野球部 OB北嶺会

郡山北工野球部は、新生2年目の昭和53年夏の福島県大会で優勝し、甲子園出場を成し遂げました。郡山市からの初出場となり郡山市民を挙げて応援され、その結果、名門松山商業を下し郡山北工の名を全国に響かせる事が出来ました。しかし、それ以来なかなか勝つ事が出来ず、北工も間もなく20周年という歳月を迎える平成8年6月30日に、北工OBをまとめ、選手と一緒にグラウンドに立ち、汗を流す行動力のある会を作ろうという強い意志によりOB北嶺会が発足いたしました。

発足式典には、増子久治同窓会会長、北原正三郡山北工校長、今泉善治後援会会長、元、監督加藤仁一郎様、諸先輩、学校関係の皆様をお



平成13年寄贈



平成15年度野球部OB北嶺会懇親会

迎えし盛会に行う事が出来ました。

OB北嶺会の基本方針として、先輩が築き上げた伝統を継承し、後援会、保護者会、そして、OB北嶺会の3つの柱で野球部の育成と強化に支援して行くことです。甲子園出場校として自覚と誇りを持ち、2度目の甲子園出場を実現させたいです。

### (活動内容)

- ・定期総会  
毎年3月1日の卒業式後の日曜日に開催
- ・卒業生全員出席でOB会入会式、卒業祝を行う
- ・選手激励会  
夏の大会前に激励金を送る
- ・応援  
夏の県大会、各地区大会応援
- ・選手慰労会

北工グラウンドで軟式野球、ソフトボールを選手、OB、全員で行う

昼食はOB、女子マネージャーにより作り、皆で食べる県内の硬式野球チームで活躍しているOBを中心に若手現役のOBチームと1、2年の新チームで試合する。

OB会ゴルフコンペ  
平成16年度で第3回開催となります(熱海カントリークラブで開催)

OB会会報発行  
OB会会報はくれないを毎年2月初めに発行する。

### (OB北嶺会より寄贈)

- 平成11年12月 野球部部室
- 平成12年 監督室
- 平成13年 雨天練習場
- 平成15年11月 夜間照明施設

## 「10周年記念事業」 第77回選抜高校野球大会出場 常総学院(茨城) 来たる

- 日 時 平成17年10月15日(土)・16日(日)
- 場 所 白沢村しらさわグリーンパーク野球場(予定)
- 招待高校 常総学院高校(茨城)  
聖光学院高校  
郡山商業高校

### 野球部OB北嶺会役員

役名	氏名	期	役名	氏名	期
会長	吉田典秀	1期	会 計	三瓶康章	20期
副会長	佐藤幸永	2期	監 査	渡辺茂男	1期
副会長	長尾宗典	10期	監 査	伊藤幸夫	8期
理事長	小松山伸一	2期	事務局長	添田善一郎	2期
副理事長	熊田孝一	12期	事務局	渋谷健夫	11期
会計長	折笠利浩	2期	事務局	今泉健太郎	13期
会 計	佐藤輝男	3期	事務局	大和田 聡	17期
会 計	土屋賢太	15期			



OB北嶺会は、今春卒業の28期生を加え450名を超え、そして、今年度で10周年を迎えるようになりまます。平成17年秋には、10周年記念事業として、甲子園常連校常総学院との招待試合を行います。その時は、同窓会の皆様も球場に足を運んで北工球児を応援してください。

最後に、今まで同様同窓会の皆様と共に北工の発展と、北工野球部の2度目の甲子園出場の実現に総力を挙げて取り組みますので、よろしくお願致します。

郡山北工野球部OB北嶺会  
会長 吉田 典秀  
北工 昭和52年機械科卒

## ノーザンピークス郡山

ノーザンピークス郡山も今年で7年目を迎え、昨年は東北リーグ2部優勝、社会人選手権県大会優勝、天皇杯準優勝と好成績をあげることができました。

昨年は、目標を東北リーグ2部優勝、社会人選手権県大会優勝、天皇杯2年連続の3冠におき、練習を週1回から週2回に増やし体力強化、レベルアップに取り組んできたので、成績に満足しています。

今年も東北リーグ1部昇格、天皇杯を目標に練習をし、結果を出していきたい。特に体力強化を中心にレベルアップを図り、チームとしても他の模範となるようにしていきたいと思っております。

また、週2回グラウンドを借り、北工サッカー部と一緒に練習しておりますので、今年も継続して現役北工サッカー部の強化に協力し、全員で勝利の感激を味わいたいと思います。

監督 松立文雄

## 平成16年度 ノーザンピークス郡山 大会成績

- 東北社会人サッカーリーグ2部  
優勝(8勝2敗)
- 第40回全国社会人サッカー選手権大会福島大会  
優勝(決勝 ノーザンピークス郡山 2-0 古河電池FC)
- 第84回天皇杯全日本サッカー選手権大会県予選  
2位(決勝 ノーザンピークス郡山 2-3 湯本高校)

# 生徒会だより

## 今年度の生徒会活動状況を報告します。

5～6月に行われました高校総体では多くの部活動が県大会、さらに上位大会へと出場し活躍しました。詳細は大会成績報告をご覧ください。

7月には、全国高校野球選手権福島県大会で、全校生徒で開成山に応援に行きました。対戦相手のピッチャーは豪腕投手とのことで、敗戦も予想されたのですが、全校生徒の迫力ある応援で調子を崩したのか、8対1の7回コールドで快勝しました。

翌日は全校球技大会が行われました。雨天のため室内競技に切り替え行われましたが、白熱した試合展開となりました。

9月には生徒会役員改選が行われ、新生徒会長に電気科2年の遠藤 太が就任し、以下十五名の新役員を迎え、十六名のメンバーで新たなスタートを切ることとなりました。そしてなんとと言っても今年最大のイベント、「第9回北嶺祭」の開催に向け、生徒会

も北嶺祭生徒実行委員会を組織し、北嶺祭の準備を開始し

ました。旧生徒会役員を中心に新生徒会役員を加え、よさこい踊りを行うこととなりました。踊りの練習をしながら歓迎アーチの製作や、半被の製作、看板の製作など夜遅くまで残り準備を行いました。

今回の「北嶺祭」は今までの工業祭の装いを変更し、全クラスでも展示発表を行うこととなり、各クラスとも自分の専門教科に関連した様々な催しを行いました。「輝け！北に咲く未来の星々」をテーマに、無事開催を迎えることになり、約5000人という多くの来場者に来ていただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

今年度を振り返ると、文化部、運動部ともに活躍が目覚ましく、北嶺祭テーマのおり、様々な分野で生徒たちは日頃の練習の成果を開花させ輝いていたのではないかと思います。



## 部活動大会成績報告

平成16年度

### 野球部

- ・第86回全国高等学校野球選手権福島大会..... 3回戦進出

### バレーボール部

- ・第50回県高等学校体育大会..... 優勝
- ・第57回県総合体育大会..... 優勝
- ・平成16年度全国高校総体(広島)..... 決勝トーナメント2回戦進出
- ・埼玉国体..... 生徒6名出場
- ・第48回福島県高等学校新人大会..... 第2位

### サッカー部

- ・第83回全国高校サッカー選手権大会..... ベスト16
- ・第50回県高等学校体育大会..... ベスト 8
- ・平成16年度福島県高等学校新人大会..... ベスト 8

### ハンドボール部

- ・第42回福島県高等学校新人ハンドボール選手権..... ベスト 8

### ラグビー部

- ・第57回福島県総合体育県南大会..... 第2位

### 柔道部

- ・第27回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大会..... 出場
- ..... 女子個人 57kg級 小林佑麻
- ・平成16年度福島県高等学校新人体育大会... 女子個人 57kg級 小林佑麻 第2位

### 陸上部

- ・第50回福島県高等学校体育大会... 5000mW 佐藤祐作 第1位
- 4×100mR 影山 佐藤悠 佐藤涼 清家 第1位
- 男子総合 第1位
- ・第59回東北高等学校陸上競技大会 400m 上田和弥 第2位
- 4×100mR 大須賀 上田 小島 小松 第3位
- ・平成16年度全国高等学校総合体育大会 400m 上田和弥 出場
- 4×100mR 大須賀 上田 小島 小松 出場
- ・第59回県陸上選手権大会兼第57回県総合体育大会 200m 上田和弥 第3位
- ・第31回東北総合体育大会..... 4×100mR 県選抜A 小島 第1位
- ・第44回県新人陸上競技大会..... 円盤投 相原満邦 第3位

### 卓球部

- ・平成16年度福島県高等学校体育大会県中大会..... 男子学校対抗 第2位
- ・第58回東北高等学校卓球選手権大会..... 出場

### ソフトテニス部

- ・第34回福島県高等学校ソフトテニスインドア選手権大会... 男子団体戦 第2位

### ソフトボール部

- ・第50回県高等学校体育大会..... 優勝
- ・第26回福島県高等学校男子春季選抜大会..... 優勝
- ・第57回福島県総合体育大会 少年男子の部..... 優勝
- ・平成16年度福島県高等学校新人体育大会..... 優勝
- ・平成16年度東北高等学校選手権大会..... 第3位
- ・第23回全国高等学校選抜ソフトボール大会南東北予選会..... 第2位
- ・第39回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会..... 第5位

### 弓道部

- ・第57回福島県総合体育大会..... 近的の部 少年男子個人 三瓶喬志 第3位

### スピードスケート部

- ・第50回福島県高等学校体育大会..... 5000m・1000m 鈴木洸翔 第1位
- 1500m 佐藤健司 第1位
- 500m 高橋 徹 第2位
- ・第57回福島県総合体育大会..... 5000m・1000m 鈴木洸翔 第1位
- 1500m 佐藤健司 第1位
- ・平成16年度東北大会..... 1500m 佐藤健司 第4位
- ・第60回国民体育大会冬季大会スケート競技会 5000m 鈴木洸翔 第5位
- 1000m 鈴木洸翔 第6位
- 2000mR(田中・香田・佐藤(郡北工)・鈴木(郡北工))県選抜チーム 第8位
- ・第54回全国高等学校総合体育大会..... 5000m 鈴木洸翔 第18位
- 10000m 鈴木洸翔 第21位
- 2000mR高橋・宗像・佐藤・鈴木 第17位

### アイスホッケー

- ・東北総合体育大会..... 少年の部 第4位

### 囲碁将棋部

- ・第28回全国高校囲碁選手権全国大会... 渡辺亮太・新田周平・大山穂高 出場
- ・全国高校文化祭徳島大会..... 渡辺亮太 出場

### 機械部

- ・第16回全日本ロボット相撲大会 3kg級 東北大会... 國分隆道・宗像祐作 第4位
- ・第16回全日本ロボット相撲大会 3kg級 全国大会... 國分隆道・宗像祐作 出場
- ・全日本ロボット相撲大会 10kg級 全国大会... 佐藤善治郎・國分隆道 ベスト16
- 松崎善一・池田顕一 出場

### 情報技術科

- ・平成16年度U-20プログラミング・コンテスト 個人部門... 佐藤 巨 入賞
- 団体部門... 郡司麻衣子 富田幹子 矢部昌美 入賞



# 進路状況

## 「油断できない就職・進学」

進路指導主事 鈴木倫子

今年度本校卒業予定者の進路状況は、進学者の割合がやや増加しました。一月末現在の状況は別表のとおりです。

就職では、県内の製造業を中心に求人がやや向上になったことが反映して、本校指定求人枠が広がり、一企業での求人枠も増えました。求人件数(求人票枚数)は前年より減少していますが、実際の求人数はここ二・三年の厳しさから見ると、回復の兆しが伺えます。

しかし、この求人状況も決して安定する方向とは言えません。企業によっては、この数年の採用プランクがあったためこの辺で社員の年齢層をつなぐためとか、二〇〇七年の定年退職者を見込んでの補充とか、一時的な対処のための求人も見られました。本場の景気回復はもう少し先のようにです。

求人状況が良かったことに対し、十二月末現在の内定率を見ると、福島県平均では昨年66%に対して今年74%、本校では昨年83%、今年89%と上昇しているものの条件の良さから見ると決して満足のできるものとは言えません。

理由は、企業側と求職(生徒)側の双方にあると思われます。まず、企業の選考が慎重になっ

の企業も職業・職場への適性を見定めるようになり、どんなに応募者が多かるうと一定の条件に過ぎない限りは内定決断を出しません。

①労働意識と意欲、②コミュニケーション能力、③人間関係能力、④謙虚さ(自分の能力を良く知って、忠告を受け止め、伸びようとする意識)、このような点はどの企業でも望む所となりました。

北工生は、労働に対する意識や意欲は一定の評価を得られると自負するところですが、最近では他の三点について充分とは言えない傾向が見られます。この点については、本人、家族の自覚と努力が必要であるとともに、学校での指導方法も研究していく所存です。

進学では、国公立大学合格者10名、日本大学工学部40名という結果は一つの成果だと言えます。大学合格者が増えたのは、受験形態の多様化により全体的に合格しやすくなったこと、専門高校の専門性を評価する入試システムが多くなったことを理由として挙げる事ができます。大学は、今後も特技や一芸を高く評価する入試システムに力を入れることが予想され、入学し易くなると思われます。

ただ、進学の場合に最も懸念されるのが、基礎学力のことです。合格・入学だけを主眼とするならば、現在の受験指導態勢でもほぼ対処できるかと思えます。工業高校生は専門では力をつけていても、普通科目の授業時数が絶対的に少ないカリキュラムとなっているために、十分な実力が身に付いていないと言えません。そのために、本校では数学・英語の課外授業を平常から実施して、合格のための

指導だけではなく、大学の授業についていけることまでを視野に入れて指導しています。理科・国語(小論文)については個別指導で取り組んでいます。これらの機会を有効に活用し取り組んでいる生徒は多いのですが、中には、合格のみにとらわれて基礎力・実力という意識に欠ける生徒もいないわけではありません。そのような生徒の意識を上げることも、今後の課題となります。

今年度の特徴として、同窓生、同窓会からのご支援、直接の求人など、旧倍にも増して多くいただいたことです。この紙面をお借りして感謝申し上げます。にも、今後ともご支援の程お願い申し上げます。

### 平成16年度進路内定状況

福島県立郡山北工業高等学校進路指導部  
平成17年 1月31日現在 ( )は女子内数

科	機械	電気	電子	情報	建築	環境	化工	合計
在籍数	80	39 (1)	39 (1)	40 (5)	41 (6)	40 (8)	80 (20)	359 (41)
就職希望者数	46	23	19	13 (2)	16	22 (6)	51 (16)	190 (24)
県内	33	18	14	9 (2)	8	12 (4)	37 (14)	131 (20)
県外	8	4	1	2	3	3 (1)	6	27 (1)
公務員	3	1	1	2	1	5	1	14
福祉・自営等					1	1	2	4
合計	44	23	16	13 (2)	13	21 (5)	46 (14)	176 (21)
就職未定	2	3	3	3	1	1 (1)	5 (2)	14 (3)
進学希望者	34	16 (1)	19 (1)	27 (3)	23 (5)	17 (2)	28 (4)	164 (16)
短大	14	5	5	14 (1)	17 (3)	13 (1)	8 (1)	76 (6)
短大				1 (1)	1		1	2 (1)
短大		2			3 (1)	1		6 (1)
訓練校	7	2	2		1		2	14
専門	12	6 (1)	11 (1)	13 (2)		3 (1)	16 (3)	61 (8)
合計	33	15 (1)	18 (1)	27 (3)	22 (5)	17 (2)	27 (4)	159 (16)
進学未定	1	1	1		1		1	5
その他(不定)					2 (1)	1	1	5 (1)
総計	80	39 (1)	39 (1)	40 (5)	41 (6)	40 (8)	80 (20)	359 (41)

### 求人件数(求人票枚数)

県内	245	県外	394	合計	639
----	-----	----	-----	----	-----

### 進路内定率

就職	92.63%	大学進学	97.40%	短大その他	96.60%
----	--------	------	--------	-------	--------

### 産業別内定状況

科	機械	電気	電子	情報	建築	環境	化工	合計
建設								9 4
製造	28	6	10	1	13	1	6	2 3 10 32 4 102 14
電気ガス								1 2
運輸通信								1 2 2
卸・小売								1 2 1
金融保険								1 0
サービス								8 4
公務								14 0
合計	36	8	19	4	15	1	11	2 10 3 18 3 40 6 149 27

### 4年制大学合格状況(過去3年間)

大学名	平成14年	平成15年	平成16年
岩手県立大学			1
山形大学工学部	1	1	3
新潟大学工学部		1	
福島大学			2
会津大学			3
千葉大学			1
青森大学	1	1	
八戸大学			1
八戸工業大学	1	1	4
石巻専修大学工学部			1
東北工業大学	4	2	1
東北学院大学	1	1	
東北福祉大学	1	1	
東北公益文科大学			1
仙台大学			2

大学名	平成14年	平成15年	平成16年
日本大学工学部	25	26	40
いわき明星大学			3
東日本国際大学	2		
足利工業大学	1	1	1
日本工業大学	3	10	3
東海大学			1
文星芸術大学			1
東洋大学工学部			1
金沢工業大学工学部			1
国士舘大学			1
国際武道大学			1
東京電機大学	1		1
群馬社会福祉大学			1
城西国際大学			1
日本体育大学	1		

大学名	平成14年	平成15年	平成16年
関東学院大学	1		2
関東学院大学		1	
大正大学	1		
城西大学	1		
上武大学			1
城西大学			1
神奈川工科大学	1		2
新潟工科大学	1		
静岡産業大学	1		
中京学院大学	1		
洗足学園音楽大学		1	
湘南工科大学工学部		2	1
日本女子大学(短期部)		1	
郡山女子大学短期大学			1
新潟工業短期大学			1



### 平成15年度 決算報告

1 収入総額 5,440,818円      2 支出総額 4,813,572円      3 差引残高 627,246円

#### 1.収入の部

項目	予算額	決算額	増 △減	備考
繰越金	695,429	695,429	0	
入会金	1,920,000	1,920,000	0	入学生320人×6,000
会費	2,136,000	2,136,000	0	卒業生356人×6,000
会誌広告料	200,000	320,000	120,000	16社
一般寄付	200,000	369,377	169,377	
雑収入	1,000	12	△988	利子
合計	5,152,429	5,440,818	288,389	

#### 2.支出の部

項目	予算額	決算額	残 △不足	備考
基本金	405,600	405,600	0	入会金・会費×0.1
会議費	500,000	478,890	21,110	三役会、幹事会
事務費	100,000	48,070	51,930	インク、紙、封筒他
慶弔費	100,000	152,000	△52,000	会費(学校、支部総会)
通信費	1,650,000	1,524,171	125,829	会報54号送料等
旅費	300,000	329,640	△29,640	本部、東京、日立、水戸総会
会誌編集費	750,000	696,990	53,010	会報54号印刷
渉外費	150,000	106,815	43,185	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	300,000	245,124	54,876	卒業記念品 会長賞
事務局費	140,000	136,500	3,500	事務局会
北嶺祭	0	0	0	
支部助成金	300,000	290,000	10,000	東京、日立、水戸支部
学校案内助成	100,000	99,750	250	学校案内印刷
総会費	350,000	300,022	49,978	総会補助、新聞広告
次年度準備金	6,829	0	6,829	
合計	5,152,429	4,813,572	338,857	

3.差引残高 ¥627,246 は次年度へ繰り越します。

### 平成15年度 基本金報告

定期預金	4,578,640	大東銀行定期預金
平成15年度入会金・会費の1割	405,600	大東銀行定期預金
合計	4,984,240	

### 平成15年度会計監査報告

平成16年4月6日の監査の結果異常のないことを認めます。

会計監査	加藤 和 大 印 中村 弘 弘 印 笹山 忠 昭 印
------	----------------------------------

### 平成15年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H15 4.8 4.11	入学式 幹事会	会長・副会長出席 平成15年度定期総会について	学校 郡山ビューホテルアネックス
5.16	幹事会	平成15年度定期総会について	龍宮城
6.7 20 28	平成15年度定期総会 日立支部総会 東京支部総会	教頭、会長、事務局 計3名出席 校長、会長、事務局 計3名出席	ホテルはまつ ひたちなか市 台東区
8.1	三役会	新役員顔合わせ兼総会反省会について 今後の活動方針について	龍宮城
9.4	幹事会	新役員顔合わせ兼総会反省会	ホテルはまつ
11.15 28	水戸支部総会 幹事会	校長、会長、副会長、事務局 計4名出席 今後の活動方針について	水戸市 郡山ビューホテル
H16 2.23 2.27	同窓会報(54号)発行 同窓会入会式	顧問、会長、副会長、監事 出席	学校
3.1 3	第27回卒業式 同窓会報(54号)発送	会長、副会長 出席	学校
4.6	会計監査	平成15年度会計	龍宮城

### 平成15年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年9月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成16年3月
<b>全日制</b> 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名 <b>定時制</b> 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名	<b>全日制</b> 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	<b>全日制</b> 機械科 3,021名 電気科 2,123名 電子科 1,076名 情報技術科 997名 建築科 1,071名 環境システム科 267名 化学工学科 2,068名 工業化学科 83名 <b>定時制</b> 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 11,296名
合計 21,103名		

### 職員異動報告

#### 平成16年度人事異動にともなう転入者

No.	職名	氏名	教科	前任校
1	教諭	浅尾哲哉	国語	福島工業高校
2	教諭	小澤邦紀	保体	須賀川高校
3	教諭	水野英暢	保体	熱海中学校
4	教諭	草野嘉津子	音楽	郡山萌世高校(定)
5	教諭	遠藤節子	家庭	本宮高校
6	教諭	鈴木正美	建築	二本松工業高校
7	教諭	村田光夫	化工	会津工業高校
8	教諭	富樫実	建築	会津工業高校
9	教諭	遠藤仁一	機械	清陵情報高校
10	教諭	笹島貞夫	電気	平工業高校
11	教諭	千葉甲子	化工	勿来工業高校
12	養護教諭	根本敏江		葵高校
13	実習教諭	田母神三知夫	建築	聾学校
14	実習教諭	佐藤喜栄	電子	二本松工業高校
15	実習教諭	熊田志郎	化工	勿来工業高校
16	実習教諭	服部誠司	機械	福島工業高校
17	常勤講師	高橋佑樹	理科	
18	常勤講師	松本総二	英語	
19	常勤講師	西勝文夫	数学	
20	常勤講師	二階堂恵子	美術	
21	常勤講師	松山雅行	環境シ	
22	非常勤講師	村田耕一	情技	
23	主事	官野千春	事務	いわき振興局
24	事務補助職員	佐藤美希	事務	

#### 平成15年度人事異動にともなう転退職者

No.	職名	氏名	教科	転出先
1	教諭	神津裕一	電気	退職
2	教諭	馬場彦吉	建築	退職
3	教諭	甲野藤栄	環境シ	退職
4	実習教諭	大河原勇一	電子	退職
5	実習教諭	平井チヨ	化工	退職
6	教諭	桜井啓二	家庭	郡山萌世高校(定)
7	教諭	七海清夫	化工	小高工業高校
8	教諭	神野藤真砂子	音楽	本宮高校
9	教諭	佐藤弥生	家庭	猪苗代高校
10	教諭	二瓶賢一	建築	会津工業高校
11	教諭	小野一夫	化工	会津工業高校
12	教諭	菊池喜作	理科	郡山萌世高校(定)
13	教諭	玉川裕美	国語	湖南高校
14	養護教諭	田中幸子		郡山萌世高校(定)
15	実習教諭	郷義光	建築	白河実業高校
16	実習教諭	小湊澄	機械	福島工業高校(定)
17	教諭	齋藤清夫	機械	退職
18	教諭	永井一弘	保体	退職
19	常勤講師	南方拓	地歴	退職
20	常勤講師	中川正樹	保体	退職
21	常勤講師	鈴木佳也子	美術	退職
22	常勤講師	石井洋子	化工	退職
23	実習助手	森智成	理科	退職
24	非常勤講師	池添祥史	情技	退職
25	時間講師	目黒一男	英語	退職
26	主事	小林美樹		教育庁総務領域
27	事務補助職員	松村里恵		退職
28	事務補助職員	加藤友美		退職



おかげさまで、創業50年。ISO14001 認証取得

YOSHIDA 株式会社 ヨシダコーポレーション

本社 〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1  
☎(024) 942-0005 FAX (024) 942-2233

http://www.media-yoshida.co.jp

## 平成16年度 同窓会役員名簿

役職名	氏名	勤務先	卒年度科
相談役	植田 英一	前県議会議員	
顧問	渡辺 達英	(有)渡達	郡 24 機
〃	先崎 一郎	(株)東北エントラプライズ	郡 31 機
会長	増子 久治	田村通信防災工業(株)	郡 42 定電
副会長	滝田 孝太郎	(株)ワールドジャーナル	西 42 電
〃	古川 弘	(有)古川弘建築設計室	郡 40 建
〃	添田 善一郎	(有)ソエタ自動車	北 53 工化
監事	加藤 和夫	(社)福島県計量協会	郡 26 機
〃	笹山 忠昭	ヒッツマテリアル(株)	北 53 機
〃	中村 弘	郡山演劇鑑賞会	西 49 電

幹事	清水 善一	(株)清水工業	郡 31 機
〃	落合 弘		郡 32 機
〃	佐藤 実	佐藤実建築設計事務所	郡 33 建
〃	泉田 定信		郡 34 電
〃	角田 達郎	郡山市役所(市役所たぐみ会会長)	郡 37 機
〃	石田 秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡 39 定機
〃	白石 勝太郎	(株)大東銀行事務部	郡 39 定機
〃	渡辺 俊彦	(有)郡山中央レンタカー	郡 40 定機
〃	関根 孝良	福島工業高等学校	郡 41 工化
〃	大内 孝	宇部日東化成(株)	郡 42 電
〃	橋本 正喜	中国レストラン龍宮城	西 42 機
〃	伊勢野 敏雄	(株)うすい百貨店	西 43 電
〃	渡辺 千尋	あさか開成高等学校	西 43 化工
〃	佐久間 保一	結建築研究室	郡 46 建
〃	遠藤 公平	郡山市役所	西 46 機
〃	矢部 重光	清陵情報高等学校	郡 48 子
〃	柳 沼 信一	(有)県南通信サービス	西 49 電
〃	竹中 広之	(有)竹中電気	郡 50 定電
〃	佐々木 郁雄	福島工業高等学校	西 50 機
〃	西 舘 丈志	JR東日本(株)	西 50 機
〃	大内 菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡 51 定電
〃	吉田 典秀	林精器製造(株)	北 52 機
〃	本田 文一	会津工業高等学校	北 52 子
〃	小 椋 山伸一	郡山地方広域消防組合	北 53 機
〃	長尾 進	福島トヨタ自動車(株)白河店	北 53 機
〃	吉成 広幸	JT郡山工場	北 53 機
〃	斎藤 均	JT郡山工場	北 53 機
〃	長谷川 光一	福島トヨペット(株)	北 53 電
〃	樫山 哲男	(株)テックス	北 53 工化
〃	吉田 均	東部液化石油(株)	北 53 工化
〃	大原 英雄	(株)ハイネット21	北 53 化工
〃	影山 春男	清陵情報高等学校	北 56 電
〃	浦井 照夫	清陵情報高等学校	北 59 機
〃	國道 美行	清陵情報高等学校	北 59 機
〃	加藤 弘平	(株)龍森 郡山工場	北 59 化工
〃	佐藤 伸宣	関彰商事(株)	北 61 化工
〃	渋谷 健夫	(有)ンパヤ	北 62 機
〃	今泉 健太郎	(株)香設計	北 1 機

(勤務先あいうえお順)

企業内支部長	三本 木 覚	(株)朝日ラバー	北 62 機
〃	大谷 元宏	(株)アルゴ研究所	北 53 子
〃	橋本 孝行	石橋工業(株)	郡 50 機
〃	宗 像 文雄	(株)エディソン	郡 50 電
〃	平栗 俊昭	郡山ビューホテル(株)	北 52 工化
〃	本田 昇意	コマツ福島(株)	北 54 機
〃	橋本 政夫	(株)ザイン	北 55 機
〃	熊田 晃大	白沢建設(株)	北 54 建
〃	佐藤 芳晴	須賀川プレジジョン(株)	郡 49 機
〃	今泉 恵一	(有)セイフティープラン	北 54 電
〃	郡 司 昌幸	田村通信防災工業(株)	北 11 電
〃	安 齋 文男	テレコム機器(株)	西 41 電
〃	有 賀 智輝	(株)東北エントラプライズ	北 1 機
〃	千 葉 利行	日本化学工業(株)	西 42 電
〃	柳 沼 幸代	八光建設(株)	郡 51 建
〃	青木 博泰	林精器製造(株)	北 52 機
〃	岩 崎 洋一	ハマツ観光(株)	北 61 建
〃	七海 孝夫	ヤマキ電気郡山事業所	北 53 電
〃	菅 井 貞夫	(株)ヨシダコーポレーション	西 46 化工

事務局 局長	浦山 敏	郡山北工業高等学校	北 52 機
事務局 次長	柳 沼 善久	郡山北工業高等学校	郡 51 子
〃	片岡 宏記	郡山北工業高等学校	北 58 化工
会 計	渡辺 正一	郡山北工業高等学校	郡 49 工化
事務局 員	達崎 守	郡山北工業高等学校	西 40 電
〃	田母神 三知夫	郡山北工業高等学校	郡 43 機
〃	熊田 志郎	郡山北工業高等学校	郡 49 工化

同窓会 支部長			
東京 支部長	小池 芳光	(株)興栄製作所	郡 27 機
日立 支部長	古川 秀康	(株)日立製作所	郡 41 機
水戸 支部長	八代 正雄		郡 34 電

## 平成16年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました

氏名	卒年度科	氏名	卒年度科
佐藤 正八	埼玉県 郡 32 機	佐藤 文絵	宮城県 北 63 建
鈴木 久	郡山市 北 57 電	佐藤 義	神奈川県 北 52 電
佐藤 哲也	須賀川市 北 63 化工	酒井 利夫	神奈川県 郡 47 建
矢部 重晴	神奈川県 郡 28 機	村越 栄二	埼玉県 北 52 子
福内 瑞男	神奈川県 郡 33 機	上遠野 登美男	郡山市 郡 38 建
高原 正三郎	愛知県 郡 27 機	竹中 広之	郡山市 郡 50 定電
山崎 功	茨城県 郡 29 機	長 窪 芳永	郡山市 郡 39 機
田中 良夫	栃木県 郡 41 機	内田 和夫	東京都 郡 49 建
渡辺 英夫	郡山市 北 63 建	山口 健次郎	神奈川県 郡 36 建
大 槻 嘉久	郡山市 北 57 電	畑 吉春	東京都 郡 29 機
吉田 良毅	栃木県 郡 31 機	江河 聡	郡山市 北 8 機
太田 裕久	北海道 郡 29 機	伊藤 雅紀	三重県 北 62 電
吉成 誠一	千葉県 北 62 機	菅野 克英	船引町 北 6 情
八代 正雄	茨城県 郡 34 電	高木 洋一	埼玉県 郡 29 機
伊藤 孝雄	郡山市 郡 31 機	新藤 公二	千葉県 郡 39 工化
大河原 勇一	船引町 郡 36 電	坂野 勇一	東京都 郡 23 機
橋本 定樹	船引町 郡 45 機	井上 安邦	神奈川県 郡 40 建
筋内 邦夫	船引町 郡 38 建	鈴木 彰宏	宮城県 郡 48 機
石井 敏男	神奈川県 郡 35 電	大山 正	郡山市 郡 31 建
安田 栄	神奈川県 郡 27 機	古 嶋 山和男	神奈川県 郡 26 機
石井 茂	茨城県 郡 29 機	谷津 将康	埼玉県 郡 37 気
小池 芳光	神奈川県 郡 27 機	栗山 芳光	神奈川県 郡 39 子
石井 源謙	郡山市 郡 31 機	凌木 謙生	郡山市 郡 27 機
横田 陸夫	岩手県 郡 32 建	橋本 洋治	茨城県 郡 36 子
安藤 和美	埼玉県 西 44 電	岡 勝彦	千葉県 郡 40 定機
戸上 真生	郡山市 北 13 化工	小池 征男	茨城県 郡 34 機
伊藤 紀夫	東京都 郡 43 電	柴崎 俊二	神奈川県 北 55 建
兼田 正男	神奈川県 西 46 電	渡邊 義人	埼玉県 郡 29 機
吉田 喜美夫	神奈川県 郡 31 機	國分 新弥	小野町 北 8 子
渡辺 正春	千葉県 郡 48 建		

北工昭和52年度機械科4組卒業生有志

## 一般寄付のお礼とお願い

54号会報の発送にあわせて一般寄付のお願いをいたしましたところ、多くの皆様よりご寄付を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営のために有効に使わせて戴きます。

平成17年3月の卒業式が学年9クラス、化学工学科2クラスでの最後の卒業式になります。これにより平成17年度からは各学年8クラス、全校で24クラスになります。このため17年度は16年度に比べ、同窓会の主たる収入である会費が1クラス分減ることになります。このような状況ですので、本年度もまた同窓生の皆様にご寄付のご協力を賜りたく、郵便払込取扱票を同封させていただきます。

ご寄付戴ける方は、払込取扱票の金額、ご依頼人の欄および通信欄をご記入のうえ郵便局にて払い込み下さるようお願いいたします。

また郵便払込取扱票は、定期総会に参加される方が会費を納入する場合にもご使用戴けます。その際は必ず通信欄の総会参加費に○をつけて払い込み下さるようお願いいたします。

## 営 業 品 目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備  
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備  
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

## 田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年度電気科卒)

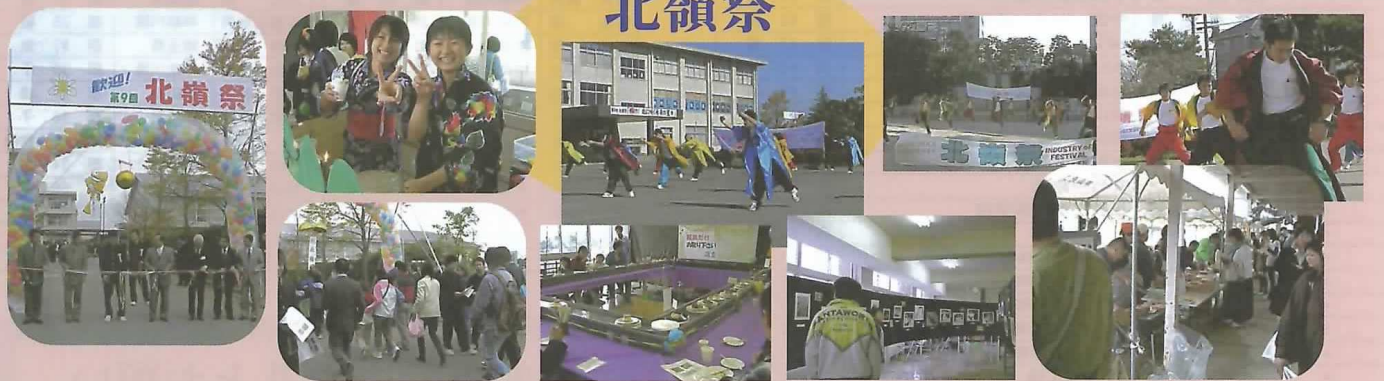
郡山市安積町荒井字下北井前4-1

☎ (024)945-2882(代) FAX (024)946-2875

# 総会風景



# 北嶺祭



## ゴルフコンペのご案内

- 平成17年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事まで御連絡ください。
- 日 時：平成17年6月18日(土)
- 定 員：60名
- 申 込：コンペ幹事

渡辺正一(同窓会事務局 024-932-1199)

## ゴルフコンペ



## 事務局 だより

今年度も皆様のご協力により会報を発行することができました。心から感謝申し上げます。さて、この会報を発送する時点でお届け先がわからない卒業生が約4,800名いらっしゃいます。そこで4月頃を目標にこれらの方々の方々の氏名を郡山北工業高校ホームページ(アドレスは表紙に記載)の同窓会のコーナーに載せ、情報を募りたいと考えておりますのでご協力をお願いします。関連しまして、最近同窓会の名前をかたり、特に若い同窓生の実家や同級生に、電話番号や住所、勤務先などを聞き出そうとする電話がかかってくるということです。同窓会から電話で個人情報をお尋ねすることはありませんのでご注意ください。



シーリング・防水資材販売  
省力化機器設計、製作

## ヒッツマテリアル株式会社

代表取締役 笹山 仁  
常務取締役 笹山 真宏 (西51電)  
専務取締役 笹山 忠昭 (北53機)

福島県郡山市笹川二丁目1番地の4  
TEL.024-947-5805 FAX.024-947-5804

## 都市再生のための出発点!!

県知事許可(般-14)第18372号 県知事許可第0702018305号



## 株式会社 新 拓

代表取締役社長 佐藤 吉雄

郡山市安積町荒井字加正36-2  
TEL (024) 945-0801 FAX (024) 945-9718

## 電気の素敵を見つけたい!



## 株式会社 エディソン

EDISON

代表取締役社長 壁谷沢 忠夫  
(昭和41年度 電気科卒)

〒963-8878 郡山市堤下町13番8号  
TEL024(922)3333 FAX024(922)0995

鋼構造物製作  
国土交通大臣認定工場



## 株式会社 ビクセル

代表取締役 橋本 保一

〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字下川原97番地  
☎(024)944-3213 ㊚(024)944-3218  
E-mail:hasimoto@bixel.co.jp